

三井住友セグロスが コンテンツサービスプラットフォームOnBaseを採用 文書管理をデジタル化し保険契約処理時間を50%削減 新規保険取り扱い数も1.5倍に増加

ハイランドソフトウェア（本社：米オハイオ州ウェストレイク、代表：Bill Priemer）が提供する世界16,000社以上導入のコンテンツサービスプラットフォーム「OnBase®」が、損害保険を扱う三井住友海上のブラジル現地法人である三井住友セグロス（本社：ブラジルサンパウロ）に採用されましたのでお知らせいたします。

<導入の背景と効果>

■新規契約処理時間を50%短縮

三井住友セグロスは、保険証券発行までに要する日数を15日以上から8日に短縮しました。「弊社と結んだサービス内容合意通りのサービスが確実に提供されるようになり、ブローカーから大変好評でした」と三井住友セグロス IT部長の土井氏が述べます。「ブローカーからの問い合わせにメールで回答する件数が極めて多く、手作業で処理していた頃は非情に苦労しました」。

■新規契約件数を毎月50%増加

OnBase導入以前、三井住友セグロスは毎月およそ4,000件の保険証券を発行していました。OnBase導入後9か月以内で、同社はスタッフを増員することなく毎月6,000件以上の保険証券を発行できるようになりました。「同じ人数でそれだけの保険証券を発行することは、明らかに効率が改善されたことの証明になります」と土井氏は当時を振り返ります。

OnBase採用のポイント

- ・ 自社契約管理システムとの柔軟な連携
- ・ リアルタイムで保険証券発行の進捗状況を把握することが可能

組織のあらゆるデータを一元管理「コンテンツサービスプラットフォーム」とは

コンテンツサービスプラットフォームとは、企業が保有するドキュメントやコンテンツなどあらゆるデータを一つのパッケージに取り込み、運用・一元管理することができる技術およびプラットフォームサービスのことです。

データベースなどの構造化データだけでなく、**ドキュメントファイルや画像、動画ファイル、音声、スキャンデータといった非構造化データをまとめて管理できるのが特長**です。ワークフローや閲覧・編集権限、編集履歴管理なども可能で、近年では各外部サービスをAPIで繋ぐことで、各社プラットフォームが提供するデータを横断して運用・管理していくことができるようになりました。

これまで「エンタープライズコンテンツ管理」（Enterprise Content Management:ECM）と呼ばれていたこの市場領域ですが、近年のモバイルプラットフォームの登場や動画コンテンツの急増、SaaSビジネスやクラウド市場の拡大などの影響を踏まえ、昨年2021年にガートナー社により「コンテンツサービスプラットフォーム（CSP）」と再定義され、ハイランドはマジック・クアドラント（Gartner® Magic Quadrant™ for Content Services Platforms, 2021）にて12年連続でリーダーポジションの評価をいただいています。

テレワークや企業DXを促進、企業に眠る非構造化データを活用できる「OnBase®」

「OnBase®」は、米国を中心に世界16,000社以上の企業に活用されている「コンテンツサービス（CS）」のためのソフトウェアです。企業が保有する情報には、ERPなどの業務ソフトウェアのデータベースなどで利用される「構造化データ」と、Office文書やメール、PDFや画像・動画データなどの「非構造化データ」に分けられます。業務で多く使用されている提案書や見積書、契約書などはこの非構造化データであり、企業が保有する情報の8割がこの非構造化データで占められているとも言われています。こうした非構造化データを含む、あらゆる組織内データをメタデータと共に、管理・運用することができるのが「OnBase®」の最大の特長です。

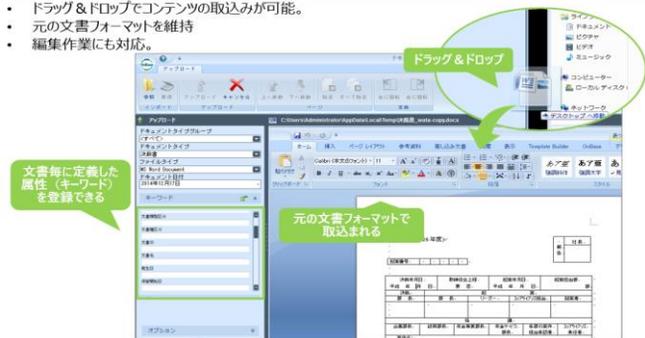
コンテンツサービス市場は、日本ではまだまだあまり馴染みのない分野ですが、世界全体の市場規模は約630億米ドルとされており、年平均20%以上の市場成長を遂げている成長分野です。

OnBase®でできること

- ・ 紙書類などをデジタル管理（ペーパーレスを実現）
- ・ 見積書や動画ファイル・画像など“非構造化データ”も一元管理可能
- ・ 500を超える外部プラットフォームとの連携が可能

OnBase®
by Hyland

- ・ ドラッグ&ドロップでコンテンツの取込みが可能。
- ・ 元の文書フォーマットを維持
- ・ 編集作業にも対応。



ノーコード（マウス操作）で簡単操作

アップロードはOnBase®上にファイルをドラッグ&ドロップするだけ。属性（キーワード）を設定するだけで、OCR機能が自動的に読み取りを開始するので、検索やファイル管理が簡単にできます。



柔軟な検索が可能

業務個別の検索画面を設定でき、1つ情報が見つければ芋づる式に情報を引き出すことが可能。仮想フォルダを設定し、業務や立場に応じたファイル管理が可能。



世界導入実績
16,000社

契約更新率
96%

連携可能な業務アプリ
500以上

ハイランドは1991年に米オハイオ州で設立され、ヘルスケア・教育・金融サービス・保険などの業界や、政府機関などを中心にECM/CSサービスを提供してまいりました。

2020年にはAlfresco社を買収、翌2021年4月にはNuxeo社を買収し、日本国内では「OnBase®」を中心に、企業DXを推進する幅広いソリューションサービスを展開しています。

ハイランドソフトウェア 会社概要

会社名	Hyland Software, Inc.
代表	Bill Priemer, President & CEO
日本拠点	〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目14-18 キャナルスクエア芝浦2F
社員数	約4,000名（2022年2月現在）
グローバル拠点数	39拠点
事業内容	ソフトウェアの開発・販売およびライセンスの供与
URL	https://www.hyland.com/ja-JP



プレスリリースに掲載されている内容、価格、仕様、サービス、お問い合わせ先、その他の情報等は発表時点の情報となります。その後予告なく変更となる場合がございますので、ご了承ください。

(※) ガートナー社「Magic Quadrant for Content Services Platforms」Michael Woodbridge, Marko Sillanpaa, Lane Severson, 2021年10月18日
 ガートナーについて: ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナー社は、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。
 GARTNERおよびMagic Quadrantは、Gartner, Inc.およびその関連会社の米国および国際的な登録商標およびサービスマークであり、許可を得て使用しています。

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】
 ハイランドソフトウェア 担当: 西島
 TEL:03-6809-3618 E-mail: JapanSales@onbase.com